

努力は自分を裏切らない

田田中学校 二年 小林 加乃

私たちには、何か大きな目標を立てたとき、その目標を「本当に達成できるのか」と不安な気持ちになることがあります。

例えば「テストの点数をもつと上げたい」や「スポーツで活躍したい」などの思いを持つても途中で諦めてしまうことがあると思います。では目標を達成するには何が必要なのか、自分が体験した事やある人物を例に考えました。

私は書道を五年間習つており、ある書道展に出品する作品を書く時、「絶対に金賞を取る」という目標を立てて挑戦しました。

私はその目標を達成するために、習っている時間以外に家で練習したり、教室の先生にたくさん助言してもらったり、家族にもいろいろと支えてもらつなどしてもらいました。

そのおかげで、目標の「金賞を取る」を達成することができました。

中々、上手くいかない時がたくさんあつたけれど、自分で努力したり、サポートをしてもらつたおかげで目標達成をすることができました。さて、次はメジャーリーグで活躍されている大谷翔平選手を例に考えてみました。

彼は高校生の時、「マンダラチャート」という目標達成シートを書いて、真ん中にある自分の目標を書く欄には、「ドラフト一位で指名される」と書いてありました。

そして、その周囲には、その目標を達成するために必要な事を沢山

書き込んでおり、それを練習や日常の中に取り入れたおかげで見事、目標を達成されました。

最後は、天下を統一した男、豊臣秀吉を例に考えてみました。

秀吉は数々の困難を努力と信念で乗り越えて、天下統一を成し遂げた人物です。

そんな努力家の彼は沢山の名言を残しており、そのうちの一つ、「一步一歩、着実に積み重ねなければ、予想以上の結果が得られる」という言葉の意味をインターネット上の検索サイトで調べてみると、「この言葉は、地道な努力の積み重ねが、最終的には大きな成果に繋がる」とを教えてくれる」と書かれてありました。

つまり、彼は地道な努力を重ねていき、一歩ずつ着実に目標に向かつて進んでいったことで、天下統一という偉業を達成したという事が分かりました。

ここまで、自分が体験した事と二人の有名な人物がした事を例に挙げて目標を達成するには何が必要なのか考えてきました。

まず、自分が体験した事例で必要になったのは、努力や自分の頑張り、周りの人からのサポートが不可欠でした。

次の大谷翔平選手の事例では、達成するのに必要な事を可視化させ、それを毎日やり続ける継続力が、三つ目の豊臣秀吉の例では、地道な努力を重ねていく事と着実に目標に向かつて進んでいく事が必要だという事が分かりました。

つまり、目標を達成するには、努力を積み重ね、やらなければならぬ事をやり続ける継続力を大切にし、時には周りの人からのサポートも必要だという事が分かりました。

中々、テストで思うような点が取れなかつたり、スポーツや習い事、

部活動で良い結果が出なかつた時は、何が足りなかつたのか、「これから何をすれば良いのかなどを考えて、努力をし続ける事を大切にすれば、きっと目標を達成できます。

辛かつたり、しんどかつたりして、諦めそつた時が、あると思うけれど、達成できた時の喜びやうれしさを思い浮かべて取り組めば、継続できると思います。

やはり、目標を達成するには、「努力」と「継続力」を大切にするのが必要ではないのでしょうか。